

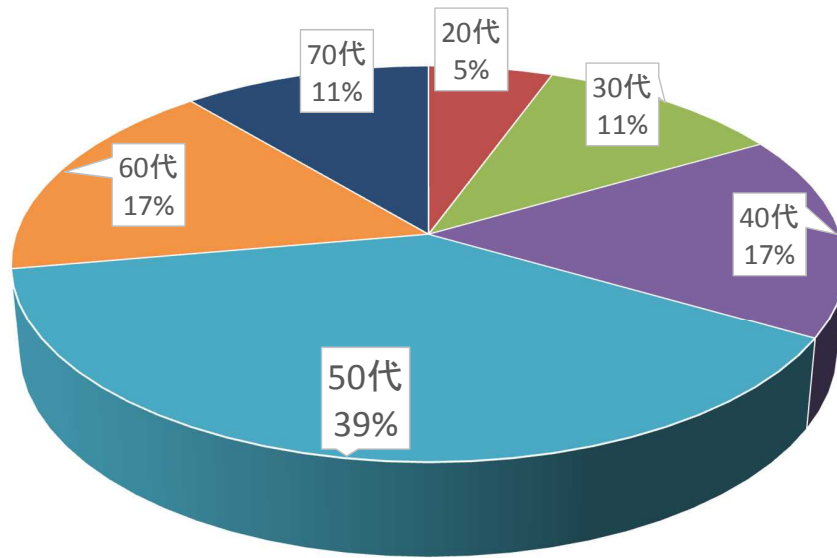
交通事故の分析【飲酒運転】

データ元：九州運輸局管内の自動車運送事業者
より、自動車事故報告規則に基づき提出された
2016年1月より2020年6月の間に発生した自動車
事故報告書のデータを整理。
データ総数 18件（全業態合計）

飲酒運転について （各業態総合）

飲酒運転者の年齢(全体)

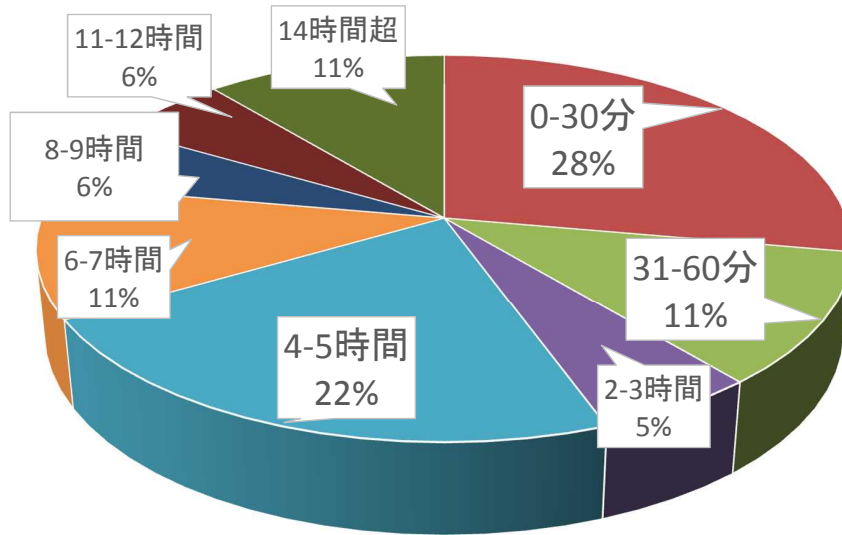
50代が最も多い



飲酒運転は50代が最も多い。

飲酒運転事故発生までの乗務時間(全体)

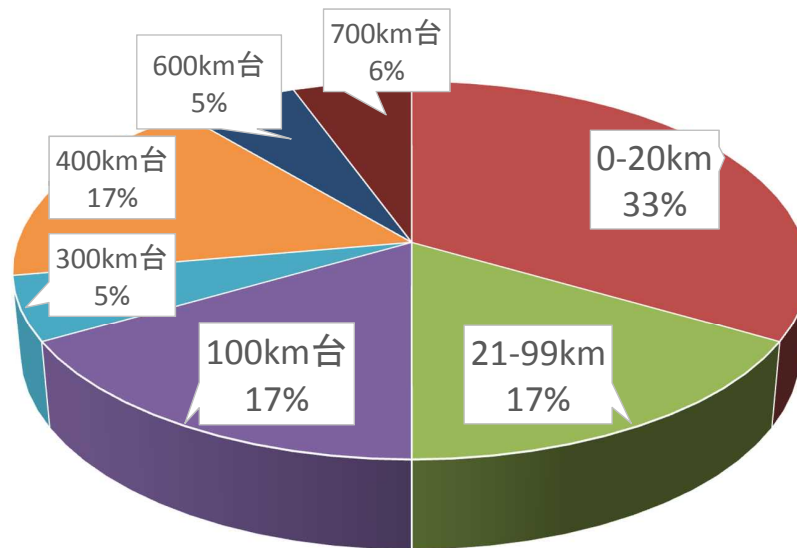
運行開始1時間内4割、休憩後2割発生している。



飲酒運転事故発生までの乗務時間は、**運行開始1時間内及び休憩後の時間帯が多い。**

飲酒運転事故発生までの乗務距離(全体)

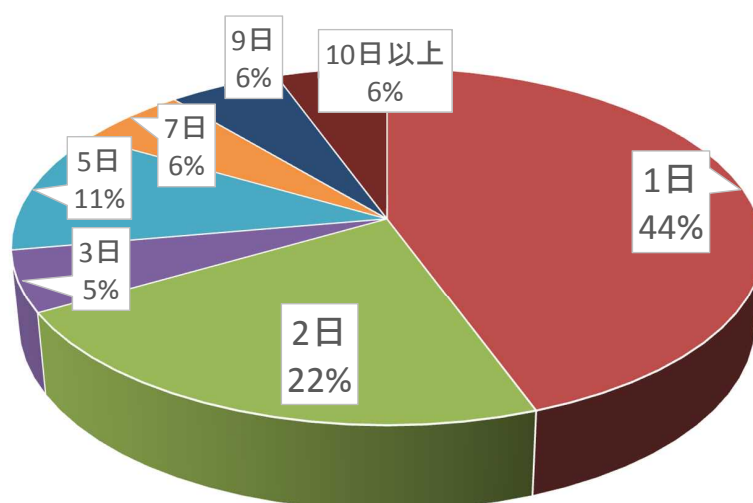
20km以下で3割発生している。



飲酒運転事故発生までの乗務距離は
20km以下で3割発生している。
100km台を含めると7割弱発生している。
運行開始直後及び休憩後と思われる。

休日明けからの勤務日数（全体）

1日目が4割、2日目まで合わせると6割発生している。



休日明けからの勤務日数は1日目が4割、2日目を含め6割発生している。
以上より、アルコール依存症を患っている可能性もあるので
アルコール症スクリーニング検査(AUDIT)により各運転手の飲酒状態を把握する必要があると思われる。